

2-1 地域福祉の推進

人と人がつながり、地域のみんなで助け合い支え合う環境づくりを進めます。

■現状と課題

- ①家族内や地域において助け合いのつながりが薄れており、また、単身世帯や核家族世帯の増加により、孤立してしまうリスクが高まっています。地域住民の福祉に対する考え方を深め、地域で支え合う福祉を充実させるため、障害の有無や年齢、性別などにかかわらず、全ての人が住み慣れた地域や家庭で、共に生きるという考え方を前提とした社会を作る必要があります。
- ②福祉施策の展開には、地域に精通する民生委員・児童委員の協力が必要ですが、地域によっては、担い手が少ないことから、欠員地区が生じています。欠員地区を解消するために関係機関と協力し定員を確保していく必要があります。
- ③社会や地域とのつながりが無くなることで、孤立する高齢者や障害者が増えています。高齢者や障害者が社会参加しやすくなるよう、外出を支援していく必要があります。
- ④手術時の輸血や白血病の治療に必要となる、輸血用血液や骨髄ドナー登録者が不足しています。定期的な献血の実施や、骨髄ドナー登録者の増加を図る必要があります。
- ⑤市内の社会福祉法人がさまざまな福祉サービスを提供しています。社会福祉法人が適正な運営を図れるよう、的確な指導監査を行う必要があります。
- ⑥高齢者や障害者の増加により、成年後見制度の利用を必要とする方の増加が見込まれます。弁護士や社会福祉士などの専門職以外の後見人等を育成するとともに、成年後見制度を利用しやすくする必要があります。

■主な取組

地域住民の福祉活動支援（現状と課題：①②③）（社会福祉課）

・障害の有無や年齢、性別にかかわらず、すべての市民が地域で共に支え合う意識の啓発や自治会・まちづくり協議会等との連携を強化し、地域で安心して暮らせる地域共生社会を目指します。

孤立死防止対策事業（現状と課題：①④）（社会福祉課）

・自宅で誰にも気づかれず亡くなり死後発見される「孤立死」を防ぐため、市内外のライフライン事業者や配送事業者、福祉事業者と連携し、孤立した状態で生活困窮に陥っている市民をいち早く発見し支援します。

高齢者等ごみ出し支援ふれあい収集事業（現状と課題：①）（クリーンセンター）

・ごみを集積所まで出すことが困難で、他に協力が得られないひとり暮らし高齢者や障害者の方々に対し、声掛けを行いながらごみを戸別収集することで生活を支援します。

外出・移動支援事業（現状と課題：④）（社会福祉課）

・高齢者や障害者等が利用できる福祉有償運送などの外出・移動支援事業や事業者等の送迎バスの空席を活用した外出応援事業等を実施します。

献血・骨髄ドナー推進事業（現状と課題：⑤）（社会福祉課）

・血液の安定供給に寄与するため、日本赤十字社の献血事業を支援します。
・骨髄移植の登録者と提供者を増やすための取り組みを支援します。

社会福祉法人の法人運営に対する指導監査（現状と課題：⑥）（社会福祉課）

・福祉サービスを提供する社会福祉法人に対し、運営状況や会計管理状況などについて、指導監査を実施する体制を強化します。

成年後見制度利用の支援（現状と課題：⑦）（社会福祉課）

・認知症や障害の状態に伴い、判断能力が低下し生活に支障が生じている方が尊厳を持って生活できるよう、成年後見制度活用に対する支援を実施します。

■ 施策指標

指標名	現況値	前期基本計画の目標値								K P I
	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	
社会福祉協議会のボランティア登録数	6,259	6,646	7,546	7,800	8,000	8,200	8,400	8,600	8,800	★
民生委員定員充足推薦割合	89.7	100	100	100	100	100	100	100	100	
福祉バスの使用率	47.7	54	5	30	45	50	50	50	50	
多くの市民に献血等に協力してもらうことにより赤十字活動に参加し理解してもらう人数	1,217	981	600	800	900	1,000	1,200	1,400	1,600	
骨髄等の提供件数	1	0	0	2	2	2	2	2	2	
社会を明るくする運動啓発活動情報提供者数	500	500	550	600	600	600	600	600	600	
福祉郵送運送の利用者数	5,496	5,500	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	5,600	
成年後見制度の新たな市長申立件数	9	23	23	23	23	24	24	24	24	